

平成28年度宇佐市功労者一般表彰

★一般表彰

(敬称略)

No.	表彰区分	氏名	年齢等	住所	功績等
1	3-1	しんがい 新貝 ふみとし 文俊	78	大字下庄	<p>平成5年から「双葉山顕彰会」会員として、郷土の誇りである昭和の大横綱・双葉山のPR活動をボランティアで行っている。</p> <p>また、双葉山の顕彰とともに市の観光・文化を広く発信するため、平成11年に建設された観光交流施設「双葉の里」においては、布津部地区の区長として企画・設計などに携わり、開館後は、館長として「双葉の里さくらまつり」や「双葉の里菊花展」を開催するなど地域と一体となった活動を行い、市の観光振興及び地域振興に大きく貢献している。</p>
2	3-2	かなまる 金丸 きゆうこ 佐佑子	75	大字長洲	<p>平成9年に「生活工房とうがらし」を開設、以来、永きにわたり地域の伝承料理について研究し、講習会や座談会を通じて、大分や宇佐の食文化、伝統食材、伝統料理を広く情報発信するなど、伝承食を見直す活動に尽力されている。</p> <p>また、平成22年度から平成26度の6年間にわたり宇佐市6次産業創造推進協議会のアドバイザーとして活動するなど、市の食文化の向上に大きく貢献している。</p>
3	3-2	くいだ 久井田 よしお 義夫	83	沖須町	<p>平成17年の市町村合併により、文化協会の活動が一本化するに伴い、旧市町のコーラス団体を一つに取りまとめた「宇佐市コーラスフェスティバル」の開催、計画・運営に尽力されている。</p> <p>また「何か形に残るものを」と市民の歌を作ることを企画し、市のイメージソングである「未来色の風」の制作、CD作成に尽力されるなど、地域での永きにわたる幅広く音楽活動を続け、文化の向上に大きく貢献している。</p>
4	3-1	かく 賀来 よしふみ 芳史	66	安心院町下毛	<p>永きにわたり安心院商工会の理事・副会長・会長を務め、行政との連携のもと、商工会のリーダーとして献身的に地域商工業の経営改善や活性化に努め、安心院町商工会と院内町商工会の合併においても商工会長として辣腕をふるい、宇佐両院商工会の設立に尽力した。</p> <p>また、観光面においても安心院町の地域資源を活かした各種イベントや観光事業に積極的に取り組むなど地域振興・観光振興に大きく貢献した。</p>
5	3-1	やの 矢野 こうけい 晃啓	80	安心院町妻垣	<p>平成10年～平成28年までの18年間、宇佐地区森林組合代表理事組合長を務めた。</p> <p>また、平成26年、県北の5森林組合と「大分県県北部流域林業推進協議会」を設立して新たな材木出荷先の確保に尽力し、林業の施業集約化と低コスト化を推進するなど、森林所有者と一体となって各種事業に努めた。</p> <p>さらに、木質バイオマス発電の原料を取り扱う国内では初となる「国東宇佐共販市場」の開設にも尽力し、市の林業の発展に貢献した。</p>

平成28年度宇佐市功労者一般表彰

★一般表彰

(敬称略)

No.	表彰区分	氏名	年齢等	住所	功績等
6	3-3	かわの きみのぶ 河野 公宣	80	院内町西椎屋	10年以上の永きにわたり、ボランティアでマチュピチュ展望台など西椎屋地区周辺の花壇の手入れや、道路等の清掃活動に取り組み、地域の美化活動に尽力され、地域の環境美化の向上に大きく貢献している。
7	3-2	ほうじょうえほぞんかい 放生会保存会	—	大字佐々礼	昭和48年、大分県無形民俗文化財に選ばれた「放生会」に際し、昭和40年代始めに後継者不足で途絶えていた、宇佐神宮から和間浮殿までを往復する「道行囃子」を復活させるため「放生会保存会」を結成、同時に「和間小お囃子クラブ」を組織し、指導にあたる。現在、「道行囃子」は和間文化財愛護少年団に受け継がれており、40年以上にわたる民俗芸能の保存と継承に尽力され、地域文化の向上に大きく貢献している。
8	3-1	九州アフリカ・ライオン・サファリ (株)	—	安心院町南畑	運営する九州自然動物公園アフリカンサファリは、日本最大級のサファリパーク形式の動物公園であり、野生動物に直接餌付けができるジャングルバスや、夜間の動物観察が楽しめるナイトサファリなどの様々な取り組みを行いながら、永年にわたり観光誘客の拡大に尽力されている。 また、平成27年の日本の人気動物園ランキングでは第3位に、アジアでは第8位にランクインするなど、日本を代表する動物園として、市の観光振興に大きく貢献している。